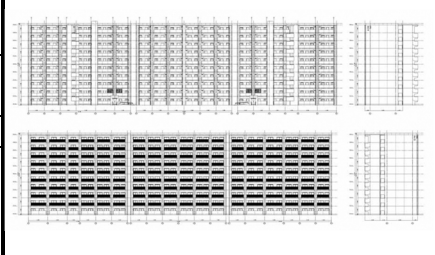


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡県宮崎団地第2期	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市西区	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第1種	平均居住人員	393 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年11月 予定	評価の実施日	2022年5月26日
敷地面積	10,379 m ²	作成者	矢野 貴大
建築面積	1,272 m ²	確認日	2022年5月27日
延床面積	10,462 m ²	確認者	中村 英雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 居心地のいいシンプルな環境を整えた住戸及び共用空間を持ったスタイルの住宅計画		
Q1 室内環境 F☆☆☆の建材を使用することにより、ホルムアルデヒドの発生を抑制した。	Q2 サービス性能 居室の天井高2.4m以上を確保することにより、ゆとりのある居住空間を毛に隠している。また、給水・給湯の配管はさや管ヘッドシステムの採用により、躯体や仕上げを痛めることなく更新できる。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺環境に溶け込みやすいデザインとしている。
LR1 エネルギー ガス給湯器に潜熱回収型を採用することにより、建物による熱負荷を低減している。また、各台所の水栓は節湯器具を採用し、照明は白熱灯を使用しないことにより、設備の省エネ化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護を考慮し、超節水型大便器を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を考慮し、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される